

本校ホームページをご覧くださいありがとうございます。

朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。そろそろインフルエンザ等の感染症が心配な季節です。体調管理にはお気を付けください。

今回は、修学旅行についてご紹介します。本校では、英語ビジネス海外研修旅行と呼び、2学年で実施しています。旅行先をベトナムにして2年目となりました。第1班が11月14日(火)から18日(土)、第2班が11月15日(水)から19日(日)までの、それぞれ3泊5日、2班編成で実施しました。今回は、本校副校長が引率責任者として職務にあたりましたので、その報告をご紹介します。

11月14日(火)、7時15分、成田空港に集合し、担任の点呼を受け、搭乗手続きを行いました。9時30分に離陸し、機内で昼食をとり、ベトナムのタンソンニャット国際空港には現地時間で13時50分頃に到着しました(ベトナムの現地時間は日本よりちょうど2時間遅くなっています)。ほぼ予定通りの到着でしたが、入国審査が大変混雑しており、空港出発は予定から約1時間の遅れとなってしまいました。入国審査の係員の“のんびりした仕事ぶり”に早くも“異文化体験”をすることになりました。ベトナムの気温は32度あり、日本よりも湿度が高く感じ、体感温度は30度後半の暑さでした。事前に聞いていましたが、道路を走るバイクの多さに、とにかく“ビックリ”しました。その多くはホンダ、スズキ、ヤマハなど日本製とのことです。バスはバイクをかき分け進むという感じで走行しましたが、日本とは異なり右側通行のこともあり、しばらくはハラハラドキドキの連続でした。よく観察するとわかったことですが、スピードを出しているバイクや自分だけ割り込んでくるバイクはほとんどなく、お年寄りや子連れの方も含めた歩行者はしっかりよけてくれるなど、現地の人たちには暗黙のルールがあるようでした。まさに「所変われば…」、これまた異文化体験です。バス車内から統一会堂、中央郵便局、聖母マリア教会、ホーチミン人民委員会庁舎などを車窓見学している最中にベトナム名物のスコールの歓迎を受けました。ガイドさんの「そろそろ降ってきます」「もうすぐ止みます」とのアドバイスをもとに、ホーチミン人民委員会庁舎前での集合写真撮影を取り止め、予定を変更して市内スーパーマーケットで市場調査を兼ねた飲料等の買い物の時間を増やしました。ガイドさんの予言はぴたりと当たり、激しいスコールをバスの移動中にやり過ごすことができ、この日は雨に濡れることなく終了することができました。ベトナムの通貨は“ドン”ですが、10000ドンが約50円の換算となります。500mlペットボトルのミネラルウォーターが3500ドンなど、感覚に慣れるまでしばらく時間がかかりました。17時に市内レストランでベトナム料理の夕食をとり、19時30分にラマナホテルに到着しました。

2日目(11月15日・水)は朝から良い天気で、暑い1日となりました。午前中は4コースに分かれてベトナム文化体験を実施しました。私はコーヒー体験の視察に参加しました。市内コーヒー店で、現地の店員さんから、コーヒーの歴史紹介、世界各国の個性的なコーヒーの淹れ方の実演などをしていただきました。イタリアのエスプレッソ、日本のサイフォンコーヒー、トルコ式コーヒー、ベトナムコーヒーの4種類の試飲とケーキを楽しむことができました。多くの生徒たちにはエスプレッソの苦みは不評で、甘みの強いベトナムコーヒーが人気でした。

12時前後に人民委員会庁舎前に再集合し、クラス写真を撮影した後、B&Sプログラムになりました。B&Sプログラムでは、生徒6～7人の班に現地大学生が1名ついて市内を散策する班別自主研修です。今回はベトナム国立工科大学を中心に15名程度の大学生が来てくれました。唯一のコミュニケーションツールは英語です。生徒たちは日頃の学習成果を大いに発揮して、市内散策や買い物など、昼食を含む約4時間をとても楽しんでいました。16時に再集合した際には、あちらこちらで大学生との別れを惜しむ写真撮影が行われていました。その後、市内レストランで夕食（イタリア料理）をとり、ラマナホテルへ戻りました。この日は、後半組の第2班がベトナムへ到着しており、ホテルでは6クラス全員が揃い、大変にぎやかな時間となりました。

3日目（11月16日・木）も良い天気恵まれ、第1班と第2班合同で学校間交流を実施しました。相手校は平成28年度から本校と姉妹校提携を結んでいるベトナムの名門国立大学【ベトナム国際大学】です。大学到着後、キャンパスツアー、ミニゲーム、学生食堂での昼食タイムなど、生徒6～7名に大学生が1名つく形で親切丁寧に対応してくれました。ここでのコミュニケーションツールもちろん英語です。生徒に感想を聞くと「たくさん話すことができて楽しかった」「学校のネイティブの先生方は、ゆっくりわかりやすい単語で話してくれるけど、実際に現地の人と話すとははいかないから難しかった」など、英語でのコミュニケーションを十分楽しんだ様子でした。国際大学と千早高校の両校による学校紹介では、本校の精鋭6グループが大変見事なプレゼンをしてくれました。日本、東京、千早高校についてそれぞれ工夫を凝らした方法で紹介し、最後に千早高校の校歌を全員で歌いました。午後は、現地で料理店を運営しながらベトナムの若者の育成活動を行っている白井尋さんに講演をしていただきました。「人生に失敗はない。挑戦と有意義な経験があるだけ」という言葉がとても印象的でした。学校間交流の最後は、大学の副学長と本校副校長の私とで記念品交換などのセレモニーを行い、集合写真を撮影して終了しました。市内に戻り五つ星ホテルのレストランで夕食（中華料理）をとり、ラマナホテルに戻りました。第1班生徒は、明日の帰国に備えて荷物整理をしてから就寝しました。

4日目（11月17日・金）も晴天、第1班にとってベトナムでの最終日です。荷物整理、チェックアウトを済ませてラマナホテルを出発し、メコンデルタのミトーにあるタイソン島へ自然体験・産業視察に向かいました。午後は市内に戻り戦争証跡博物館で平和学習を行い深夜の飛行機で帰国します。私はこの朝で第1班とはお別れし、後半組第2班の3日目に合流しました。第2班は、この日にコース別の文化体験とB&Sプログラムを行います。私は今回、アオザイ体験コースに参加しました。アオザイはベトナムの伝統衣装で、現在でもオフィスなどではアオザイに着替えて業務をする会社も多いそうです。多くの家庭でオーダーメイドのアオザイを持っており、大人は一度作ったアオザイを長く着続けられるよう体型維持にも気を遣うそうです。市内の専門店での好きなアオザイに着替え、丁寧にお化粧品もしてもらい、店内のスタジオで一人一人記念写真を撮影してもらいました。その後、徒歩5分程度の距離にある聖母マリア教会へ行き、その前でもやはり一人一人記念写真を撮影しました。生徒たちは互いに「かわいい」「よく似合っているね」などと声をかけ合いながら、嬉しそうに写真撮影をしていました。ある生徒の「みんな自分の似合う色を知っているよね」という感想に、私も「まさにそのとおり」と心の中で拍手を送りました。そうしているうちに、他の観光客から声がかかり、あちらこちらでアオザイの千

早生と観光客との写真撮影が始まりました。私はまるでモデル事務所の社長のような心持で、笑顔の溢れる風景を楽しんでいました。午後は、第1班と同様にB&Sプログラムで市内の班別自主研修を実施し、イタリア料理の夕食をとり、ラマナマナホテルに戻りました。

5日目（11月18日・土）もやはり晴天、第2班にとってもいよいよベトナム最終日、第1班同様の行程で進みます。荷物整理、チェックアウトを済ませてラマナホテルを出発し、メコンデルタのミトーにあるタイソン島へ自然体験・産業視察に向かいました。途中までは高速道路でスイスイと進みましたが、メコンデルタが近づくと、車窓の景色は熱帯雨林のようになり、あちらこちらにジャングルのような森が見えてきました。高速道路を降りてミトーに入ると道路は舗装されておらず、バスはゆっくり走るようになりました。ミトー到着後、40~50人程度が乗れる船に乗ってタイソン島へ渡り、初めにココナッツキャラメル工場を見学しました。ココナッツの採取、ココナッツ汁の搾取、キャラメル成型、箱詰めまでを、5~6人の作業員の方々がほぼ手作業でこなしていました。特に驚いたのは、約2cm四方のキャラメルを1個ずつ紙で包んで40個入りの箱に詰める作業のスピードです。すべて手作業ですが、5分もしないうちにキャラメル1箱が出来上がりました。その後、4人乗りの小舟でジャングルクルーズを楽しみ、はちみつ農園や果樹園を見学しながら、試食もさせてもらいました。ジャングルクルーズでは、2mくらいしかない幅の小さな川を船頭さんの操作でたくさんの船が、相互通行でありながらほとんどぶつかることなくスイスイと進みます。途中、川に入って天然のエビを採っている人や、島で生活している人の住居なども見ることができました。果樹園にはニシキヘビが飼われていて、観光客との写真撮影も可能でした。大勢の生徒がニシキヘビを首に巻いて写真撮影をしていました。昼食はミトー名物のエレファントフィッシュや、もち米を風船のように丸く揚げたグレートボールなどをいただき、メコンデルタを出発しました。午後は市内に戻り戦争証跡博物館を見学しました。この博物館にはベトナム戦争で使用された戦車や大砲、爆弾等戦争遺物が展示されています。とりわけ枯れ葉剤による被害状況が克明に記録されています。屋外には、拷問の島と呼ばれたコンソン島の牢獄「トラの檻」を忠実に復元した展示もあります。改めて戦争の愚かさを思い知らされました。市内スーパーマーケットで市場調査を兼ねた土産購入の時間をとった後、ベトナム最後の夕食にはもちろんベトナム料理をいただき、タンソンニャット国際空港へ向かいました。

出国手続きを済ませ、午前0時20分タンソンニャット国際空港を離陸しました。機内で朝食をとり、予定通り7時45分に成田空港に到着し、荷物の受け取り、出国手続きを済ませ解散しました。ほとんどの生徒が初めてベトナムを訪れた今回の修学旅行でしたが、現地の大学生をはじめ、多くの人々と積極的にコミュニケーションを図る彼らの姿を見て、近い将来、グローバル人材として活躍してくれるだろうと大いに期待することができました。今回の経験を今後の人生に活かしてくれること望みます。

\*次ページは、ベトナム国際大学の正面玄関での記念撮影です（11月16日撮影）。

